



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月31日

上場会社名 株式会社北日本銀行 上場取引所 東
 コード番号 8551 URL <https://www.kitagin.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役頭取 (氏名) 石塚 恭路
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高橋 学 (TEL) 019-653-1111
 配当支払開始予定日 ー
 特定取引勘定設置の有無 無
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	7,112	12.1	1,665	2.4	1,129	1.5
2025年3月期第1四半期	6,343	△11.1	1,626	65.0	1,112	72.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,763百万円(△42.0%) 2025年3月期第1四半期 3,039百万円(△35.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	136.00	135.77
2025年3月期第1四半期	131.86	131.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,546,531	87,724	5.7
2025年3月期	1,526,336	86,460	5.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 87,688百万円 2025年3月期 86,424百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	40.00	—	60.00	100.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,300	2.5	1,900	△36.2	1,200	△47.1	144.47
通期	28,100	6.5	4,700	△15.8	3,100	△22.7	373.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	8,593,776株	2025年3月期	8,793,776株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	288,076株	2025年3月期	487,757株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	8,305,897株	2025年3月期1Q	8,439,356株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料

目 次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 6
(セグメント情報等の注記)	P. 6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 7
2026年3月期 第1四半期決算説明資料	P. 8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期(2025年4月1日～2025年6月30日)の経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金が増加したことなどにより、前年同四半期比769百万円増加して7,112百万円となりました。

経常費用は、預金利息が増加したことなどにより、前年同四半期比730百万円増加して5,447百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同四半期比39百万円増加の1,665百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比17百万円増加の1,129百万円となりました。

セグメントごとの損益状況につきましては、「銀行業」の経常収益が貸出金利息及び有価証券利息配当金が増加したことなどにより前年同四半期比770百万円増加して6,353百万円、セグメント利益である経常利益が預金利息は増加したものの、経常収益が増加したことなどにより前年同四半期比68百万円増加して1,679百万円となりました。

「リース業」の経常収益がリース関連収入が増加したことなどにより前年同四半期比42百万円増加して885百万円、セグメント利益である経常利益がリース関連費用は増加したものの、経常収益が増加したことなどにより前年同四半期比6百万円増加して29百万円となりました。「クレジットカード業・信用保証業」の経常収益が保証料収入が減少したことなどにより前年同四半期比7百万円減少して181百万円、セグメント利益である経常利益が経常収益は減少したものの、与信費用が減少したことなどにより前年同四半期比8百万円増加して56百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

預金残高(譲渡性預金含む)は、個人預金及び公金・金融機関預金が増加したことなどにより、前連結会計年度末比168億円増加して1兆4,374億円となりました。

貸出金残高は、事業性貸出金が減少したことなどにより、前連結会計年度末比95億円減少して1兆919億円となりました。

有価証券残高については、国内外の投資環境や市場動向に留意した取り組みの結果、前連結会計年度末比136億円減少して2,577億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想については、2025年5月14日公表の数値から変更はございません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
現金預け金	111,065	153,471
買入金銭債権	49	8
商品有価証券	4	1
金銭の信託	8,714	8,769
有価証券	271,398	257,737
貸出金	1,101,426	1,091,903
外国為替	1,441	1,682
リース債権及びリース投資資産	8,936	8,843
その他資産	10,208	11,287
有形固定資産	14,593	14,541
無形固定資産	1,140	1,101
退職給付に係る資産	2,742	2,758
繰延税金資産	208	208
支払承諾見返	1,949	1,657
貸倒引当金	△7,544	△7,442
資産の部合計	1,526,336	1,546,531
負債の部		
預金	1,419,856	1,434,456
譲渡性預金	750	3,000
借入金	1,362	1,238
その他負債	9,294	11,803
賞与引当金	355	98
役員賞与引当金	17	—
退職給付に係る負債	1,601	1,571
役員退職慰労引当金	3	4
睡眠預金払戻損失引当金	42	41
ポイント引当金	14	17
繰延税金負債	2,492	2,781
再評価に係る繰延税金負債	2,135	2,135
支払承諾	1,949	1,657
負債の部合計	1,439,875	1,458,806
純資産の部		
資本金	7,761	7,761
資本剰余金	4,996	4,989
利益剰余金	60,338	60,452
自己株式	△1,279	△755
株主資本合計	71,816	72,447
その他有価証券評価差額金	9,266	9,915
土地再評価差額金	4,487	4,487
退職給付に係る調整累計額	854	838
その他の包括利益累計額合計	14,607	15,241
新株予約権	36	36
純資産の部合計	86,460	87,724
負債及び純資産の部合計	1,526,336	1,546,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
経常収益	6,343	7,112
資金運用収益	4,261	5,319
(うち貸出金利息)	3,168	3,659
(うち有価証券利息配当金)	1,024	1,524
役務取引等収益	682	652
その他業務収益	882	911
その他経常収益	518	229
経常費用	4,717	5,447
資金調達費用	84	610
(うち預金利息)	80	606
役務取引等費用	622	641
その他業務費用	768	806
営業経費	3,156	3,343
その他経常費用	86	45
経常利益	1,626	1,665
特別損失	5	13
固定資産処分損	5	13
税金等調整前四半期純利益	1,620	1,652
法人税、住民税及び事業税	507	522
法人税等合計	507	522
四半期純利益	1,112	1,129
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,112	1,129

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,112	1,129
その他の包括利益	1,926	633
その他有価証券評価差額金	1,947	649
退職給付に係る調整額	△21	△15
四半期包括利益	3,039	1,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,039	1,763

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の処理

当行及び連結子会社の税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じるにより算定しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	クレジット カード業・ 信用保証業	計		
経常収益						
外部顧客に対する経常収益	5,505	843	50	6,399	△55	6,343
セグメント間の内部経常収益	78	0	137	216	△216	—
計	5,583	843	188	6,615	△271	6,343
セグメント利益	1,611	23	48	1,684	△57	1,626

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
 2. 外部顧客に対する経常収益の調整額は、貸倒引当金繰入額の調整によるものであります。
 3. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
 4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	クレジット カード業・ 信用保証業	計		
経常収益						
外部顧客に対する経常収益	6,233	884	50	7,169	△56	7,112
セグメント間の内部経常収益	120	0	130	251	△251	—
計	6,353	885	181	7,420	△307	7,112
セグメント利益	1,679	29	56	1,765	△99	1,665

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。
 2. 外部顧客に対する経常収益の調整額は、貸倒引当金繰入額の調整によるものであります。
 3. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
 4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	215 百万円	221 百万円

2026年3月期 第1四半期決算説明資料

1.損益状況【単体】

> **経常収益**は、貸出金利息及び有価証券利息配当金が増加したことなどにより、前年同四半期比770百万円増加の6,353百万円となりました。
 > **業務粗利益**は、資金利益が増加したことなどにより、前年同四半期比524百万円増加の4,691百万円となりました。
 > **実質業務純益**は、経費は増加したものの、業務粗利益が増加したことなどにより、前年同四半期比338百万円増加の1,418百万円となりました。
 > **経常利益**は、償却債権取立益は減少したものの、実質業務純益が増加したことなどにより、前年同四半期比68百万円増加の1,679百万円となり、**四半期純利益**は、前年同四半期比49百万円増加の1,169百万円となりました。
 > なお、2026年3月期第2四半期累計期間業績予想比進捗率は、経常収益が55.2%、経常利益が93.2%、四半期純利益が97.4%と順調に推移しておりますが、今後の与信費用発生の可能性も考慮し、業績予想については2025年5月14日公表の数値から変更はございません。

(単位：百万円)

	当四半期 26年3月期 第1四半期累計期間		前年同四半期 25年3月期 第1四半期 累計期間	26年3月期 第2四半期 累計期間 業績予想値 (6ヶ月間)	<参考> 25年3月期 実績 (12ヶ月)
		増減			
経常収益	6,353	770	5,583	11,500	23,069
業務粗利益	4,691	524	4,167		17,041
資金利益	4,820	575	4,245		17,438
役務取引等利益	△ 127	△ 40	△ 87		△ 11
その他業務利益	△ 1	△ 10	9		△ 386
うち国債等債券損益	—	—	—		△ 382
経費 (除く臨時処理分) (△)	3,272	186	3,086		12,721
うち人件費(△)	1,651	91	1,560		6,307
うち物件費(△)	1,419	81	1,338		5,658
実質業務純益 ※1	1,418	338	1,080		4,319
コア業務純益 ※2	1,418	338	1,080	1,600	4,701
除く投資信託解約損益	1,006	△ 74	1,080		4,372
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	—	—	—		—
業務純益	1,418	338	1,080		4,319
臨時損益	261	△ 270	531		980
うち不良債権処理額(△) ②	—	—	—		730
うち貸倒引当金戻入益 ③	85	30	55		374
うち償却債権取立益 ④	9	△ 137	146		153
うち株式等関係損益	108	△ 98	206		691
経常利益	1,679	68	1,611	1,800	5,300
特別損益	△ 13	△ 8	△ 5		△ 253
税引前四半期 (当期) 純利益	1,666	61	1,605		5,046
法人税等(△)	496	12	484		1,201
四半期 (当期) 純利益	1,169	49	1,120	1,200	3,844
実質与信費用(△) (=①+②-③-④)	△ 95	106	△ 201		203

※1 実質業務純益 = 業務粗利益 - 経費 ※2 コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券損益

※ 上記業績予想につきましては、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2.預金、貸出金等の残高【単体】

- > 当四半期末の**預金残高**は、公金・金融機関預金が減少したことなどにより、預金残高全体（譲渡性預金含む）では前年同四半期末比333億円減少の1兆4,399億円となりました。
 > **預かり資産残高**は、生命保険残高及び投資信託残高が増加したことなどにより、前年同四半期末比10億円増加の1,210億円となりました。
 > **貸出金残高**は、住宅ローンが増加したことなどにより、前年同四半期末比205億円増加の1兆1,002億円となりました。

(1)預金残高

(単位：百万円)

	2025年6月末 (A)	2024年6月末 (B)	増減 (A) - (B)	2025年3月末
預金総額（譲渡性預金含む）	1,439,931	1,473,239	△ 33,308	1,422,795
預金	1,436,931	1,470,239	△ 33,308	1,422,045
個人預金	1,024,968	1,026,858	△ 1,890	1,019,495
法人預金	370,706	366,872	3,834	370,322
公金・金融機関	41,256	76,509	△ 35,253	32,227
譲渡性預金	3,000	3,000	0	750

(2)預かり資産残高

(単位：百万円)

	2025年6月末 (A)	2024年6月末 (B)	増減 (A) - (B)	2025年3月末
生保・投信預かり残高	121,084	120,031	1,053	119,824
生命保険	89,599	88,688	911	88,996
うち個人年金保険	16,106	13,788	2,318	14,887
投資信託残高	31,484	31,343	141	30,828

(参考)

国債等預かり残高	16,007	12,015	3,992	14,651
----------	--------	--------	-------	--------

※生命保険は「有効契約の保険料残高(平準払保険を除く)」を記載しております。

(3)貸出金残高

(単位：百万円)

	2025年6月末 (A)	2024年6月末 (B)	増減 (A) - (B)	2025年3月末
貸出金総額	1,100,223	1,079,691	20,532	1,109,446
事業性貸出金	506,852	505,572	1,280	519,895
個人ローン	525,542	509,365	16,177	523,815
住宅ローン	497,966	480,928	17,038	496,177
その他ローン	27,575	28,436	△ 861	27,638
地公体貸出	67,828	64,753	3,075	65,734

3. リスク管理債権及び金融再生法開示債権の状況【単体】

➤ 当四半期末の金融再生法開示債権は、前年同四半期末比3,091百万円減少し16,271百万円となりました。また、総与信に占める割合は、前年同四半期末比0.31%低下して1.46%となりました。

(単位：百万円)

	2025年6月末	2024年6月末	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,601	5,633	4,540
危険債権	10,248	10,294	10,418
要管理債権	1,421	3,433	1,457
三月以上延滞債権	151	277	181
貸出条件緩和債権	1,269	3,155	1,276
合計 (A)	16,271	19,362	16,416
正常債権	1,094,743	1,071,347	1,104,178
総与信額 (B)	1,111,014	1,090,709	1,120,595
総与信に占める割合 (A) / (B)	1.46%	1.77%	1.46%

(注) 1. 算定方法については、当行の定める「資産の自己査定基準」に基づき、2025年6月末時点で実施した資産査定結果による債務者区分を前提としております。

2. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

※ 債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権	実質破綻先、破綻先の債権
危険債権	破綻懸念先の債権
要管理債権	要注意先のうち、元本又は利息の支払いが3ヶ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権

4. 自己資本比率(国内基準)【単体・連結】

➤ 当四半期末の自己資本比率は、単体が前年同四半期末比1.14%上昇し9.99%、連結が前年同四半期末比1.18%上昇し10.30%となりました。

(単位：百万円)

	2025年6月末		2024年6月末		2025年3月末	
	単体	連結	単体	連結	単体	連結
自己資本比率	9.99%	10.30%	8.85%	9.12%	9.75%	10.05%
自己資本の額	71,340	74,137	68,908	71,518	70,238	73,075
リスク・アセット等	713,488	719,413	778,500	783,909	720,355	726,730
総所要自己資本額	28,539	28,776	31,140	31,356	28,814	29,069

(注) 2025年3月末より新たな自己資本比率規制(バーゼルⅢ最終化)を適用しております。

5.有価証券の状況【単体】

- 当四半期末の有価証券残高は前年同四半期末比160億円減少し、2,586億円となりました。
- 当四半期末のその他有価証券の評価差額は、前年同四半期末比4,703百万円減少し、14,776百万円の評価差益となりました。

(1) 有価証券残高

(単位：百万円)

	2025年6月末 (A)	2024年6月末 (B)	増減 (A) - (B)	2025年3月末
有価証券残高	258,698	274,773	△ 16,075	272,359
国債	32,756	15,340	17,416	30,035
地方債	88,053	101,305	△ 13,252	92,993
社債	25,560	25,993	△ 433	24,851
株式	27,734	28,038	△ 304	26,564
その他の証券	84,594	104,094	△ 19,500	97,915

(2) 時価のある有価証券の評価差額

(単位：百万円)

	2025年6月末			2024年6月末			2025年3月末		
	評価差額			評価差額			評価差額		
		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損
その他 有価証券	14,776	17,975	3,199	19,479	21,925	2,445	13,831	18,098	4,266
株式	12,990	13,079	88	12,737	12,872	135	12,001	12,078	76
債券	△ 2,090	75	2,166	△ 818	244	1,062	△ 2,717	36	2,754
その他	3,876	4,820	944	7,561	8,808	1,247	4,547	5,982	1,435

(注)2025年6月末の「評価差額」は、2025年6月末時点の帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。